



サプライチェーンの取り組み

基本的な考え方

「三機工業グループ行動規範・行動指針」に、自由な市場競争の促進、お取引先との対等・公正・透明な取引関係を定めています。さらに「調達方針」「人権方針」「マルチステークホルダー方針」「環境方針」を定め、お取引先との連携による高品質な設備やサービスの提供と信頼関係の構築に努めています。

- サプライチェーンの取り組み・三機工業グループ調達方針 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/scm/>
- マルチステークホルダー方針 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/governance/multistakeholder/>
- 三機工業グループ人権方針 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/human-rights/>
- 三機工業グループ環境方針 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/environment/management/>

お取引先とのパートナーシップ

お取引先との対等・公正・透明な取引関係の構築は、三機工業グループが社会的責任を果たし、持続可能な発展をしていく上で、非常に重要な要素と考えています。風通しのよい関係構築のために、どなたでも利用可能な「企業倫理ホットライン」および協力会社通報相談窓口を設けています。2024年度のお取引先からの通報件数2件にはすべて適切に対応しています。

● 内部通報制度
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/governance/compliance/>

協力会社の技術力維持向上

協力会社への助成金制度を設け、各部門で適切に運用することに加え、協力会社の新入社員や中堅社員向け技能研修でも、三機テクノセンターを研修場所として活用しています。さらに、教育の一環として、当社の新入社員研修では協力会社の方による指導も行っています。

協力会社の経営安定化の支援

当社は、「パートナーシップ構築宣言」を掲げる企業として、これまでにお取引先に対する支払い条件の改善を実施してきました。新たな「中期経営計画2027」においても、さらなる改善を掲げており、2025年10月にすべての協力会社への支払いを全額現金振込に変更するとともに、お取引先に対する振込手数料を全額当社負担としました。今後もお取引先とのより強固な

パートナー関係の構築を目指していきます。

お取引先との連携強化

お取引先との意見交換や実態評価、協力会を通じて対話を深め、サプライチェーン全体の品質向上や業務改善を図っています。

お取引先との対話

対話方法	内容
意見交換	主要なお取引先やメーカー [※] を訪問し意見交換会を行っています。2024年度は、いただいた要望をもとに余裕を持った価格回答期間の設定や発注の早期化などの改善を行いました。意見交換会の内容は、調達関係者が出席する会議で社内へ周知し、調達活動に活かしています。
実態評価	安全管理等にかかる評価を毎年実施しており、評価結果はお取引先を訪問して、直接フィードバックを行っています。改善のための情報交換を適宜行う中で、お取引先における管理能力の向上を目指しています。新規のお取引先では、取引開始時に各拠点で共通した取引先評価表を用いて財務状況や品質・環境マネジメント状況などの多面的な評価を行い、問題がないことを確認しています。
「協力会」を通じた協働による改善活動	当社では、施工体制強化のために、支社・支店・事業部ごとに、協力会と協力会を設け、月1回の定期連絡会や、施工省力化プロジェクトの実施、研修会を通じた技術向上や品質管理、労働安全衛生管理の徹底などに努めています。また、当社従業員による安全衛生・資格取得教育や、合同安全パトロールなどを実施し、安全衛生管理状況の確認や指導も行っています。「全国三機安全衛生協力会」のブロック会議を開催し、お取引先を含めたグループ全体の安全意識の維持・向上を強く喚起しました。さらに、協力会の自主的な現場見学の開催など、施工に直接携わる協力会の主導により本会を行うことで、災害予防に対する意識の向上が期待されています。

※訪問先は、当社取引における重要度、取引金額等を勘案の上、毎年度選定しています。

● 2024年度意見交換会の主なテーマ
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/scm/>

● 安全衛生教育 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/safety/>



品質の向上

基本的な考え方

三機工業グループの技術力・提案力を発揮し、顧客ニーズに最適で高品質な製品・システムの提供を通じて顧客満足を高めるとともに、社会へ新しい価値を提供していきます。品質の維持・向上を図るため、QMS(品質マネジメントシステム)^{*}を構築しています。

*建設設備事業、機械システム事業、環境システム事業の各部門において、QMSとEMSを統合して運用しています。2024年度から国内グループ全社に適用範囲を広げました。

● 品質 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/quality/>

トラブル・クレーム発生防止による 施工品質向上

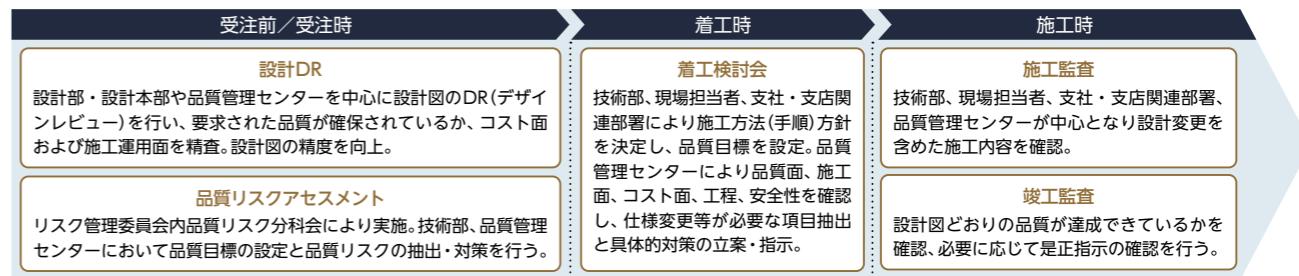
三機工業グループは、当社を起点とする施工中のトラブル・クレーム(以下、TC)ゼロを目指しています。これまでの経験を社内で共有するとともに、トラブルが続く現場では技術的スキルの高い技術エキスパートが個別に指導するなどして、改善を図っています。

2024年度は、トラブル防止事前検討会や各拠点技術部長も参加するTC確認会議を継続開催し、真因分析を通じて判明した原因を社内で共有、さらにTC防止動画の制作・配信を行った結果、TC発生件数は前年度より約25%減(19件減)となりました。しかし、漏水に関するTCが毎年継続して発生しており、2025年度は再発防止に向けて施工品質維持・向上に取り組んでいく予定です。

建築設備施工現場における 品質リスクアセスメント

企画・設計から施工にわたり、一貫して品質向上に取り組んでいます。設計段階では、DR(デザインレビュー)の充実を図り、2024年度は対象物件のすべてに対して

施工現場における設計・技術の品質への取り組み



実施しました。設計図の精度向上により竣工後のは正対応が減少し、採算性の悪化防止につながっています。

着工段階では、着工検討会で施工方法(手順)や方針を定め、高品質・高生産性を目指しています。すべてのプロセスにおいて厳密なチェックとフォローを行うことで不正・不備の防止に努めています。また、技師長・技術エキスパートによる施工時、竣工時の監査、品質確認等の実施と是正を実施しています。

2025年度は、拠点駐在の主担当者が自身の拠点以外の監査に同行し、第三者の視点による品質チェックを実施し、品質レベルの統一を図ります。

技術を支える人財の育成

研修施設として三機テクノセンターではグループ会社・協力会社も含めた各種教育を実施しています。実物機器・設備による実践的な演習・訓練を強化し、技術者のスキルアップをさらに推進しています。現場においては、技師長・技術エキスパートによるOJTや、多くの経験と高いスキルを持つシニアエキスパートと一緒にになって施工方法を検討し、指導を仰げる体制が整っています。個人や各部門が持つ技術や知見を共有することで、蓄積した技術の承継を確かなものとし、さらなる技術力の向上を目指しています。